

使徒 13

“さて、アンテオケには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、国主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどという預言者や教師がいた。彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務につかせなさい」と言われた。”

使徒の働き 13章 1～2 節

“そこで彼らは、断食と祈りをして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。”

使徒の働き 13章 3 節

“イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ』と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません。」”

マタイの福音書 17章 20～21 節

“すなわち、その治世の第一年に、私、ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

そこで私は、顔を神である主に向けて祈り、断食をし、荒布を着、灰をかぶって、願い求めた。”

ダニエル書 9章 2～3 節

“そのころ、私、ダニエルは、三週間の喪に服していた。

満三週間、私は、ごちそうも食べず、肉もぶどう酒も口にせず、また身に油も塗らなかつた。”

ダニエル書 10章 2～3 節

“彼は私に言った。「恐れるな。ダニエル。あなたが心を定めて悟ろうとし、あなたの神の前でへりくだろうと決めたその初めの日から、あなたのことばは聞かれているからだ。私が来たのは、あなたのことばのためだ。”

ダニエル書 10章 12 節

“さて、聖霊に満ちたイエスは、ヨルダンから帰られた。そして御霊に導かれて荒野におり、

四十日間、悪魔の試みに会われた。その間何も食べず、その時が終わると、空腹を覚えられた。”

ルカの福音書 4章 1～2 節

“イエスは御霊の力を帯びてガリラヤに帰られた。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。”

ルカの福音書 4章 14 節

“断食するときには、偽善者たちのようにやつれた顔つきをしてはいけません。彼らは、断食していることが人に見えるようにと、その顔をやつすのです。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。

しかし、あなたが断食するときには、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。

それは、断食していることが、人には見られないで、隠れた所におられるあなたの父に見られるためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が報いてくださいます。”

マタイの福音書 6章 16～18 節

“ところが、魔術師エルマ(エルマという名を訳すと魔術師)は、ふたりに反対して、総督を信仰の道から遠ざけようとした。

しかし、サウロ、別名でパウロは、聖霊に満たされ、彼をにらみつけて、

言った。「ああ、あらゆる偽りとよこしまに満ちた者、悪魔の子、すべての正義の敵。おまえは、主のまっすぐな道を曲げることをやめないのか。

見よ。主の御手が今、おまえの上にある。おまえは盲目になって、しばらくの間、日の光を見ることができなくなる」と言った。するとたちまち、かすみとやみが彼をおおったので、彼は手を引いてくれる人を捜し回った。

この出来事を見た総督は、主の教えに驚嘆して信仰に入った。”

使徒の働き 13章 8～12 節

“それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になつた者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』

神は、このダビデの子孫から、約束に従って、イスラエルに救い主イエスをお送りになりました。

この方がおいでになる前に、ヨハネがイスラエルのすべての民に、前もって悔い改めのバプテスマを宣べ伝えていました。”

使徒の働き 13章 22～24 節

“そして、死罪に当たる何の理由も見いだせなかったのに、イエスを殺すことをピラトに強要したのです。

こうして、イエスについて書いてあることを全部成し終えて後、イエスを十字架から取り降ろして墓の中に納めました。

しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。”

使徒の働き 13章 28～30 節

“イエスは幾日にもわたり、ご自分といっしょにガリラヤからエルサレムに上った人たちに、現れました。きょう、その人たちがこの民に対してイエスの証人となっています。私たちは、神が父祖たちに対してなされた約束について、あなたがたに良い知らせをしているのです。

神は、イエスをよみがえらせ、それによって、私たち子孫にその約束を果たされました。詩篇の第二篇に、『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ』と書いてあるとおりです。

神がイエスを死者の中からよみがえらせて、もはや朽ちることのない方とされたことについては、『わたしはダビデに約束した聖なる確かな祝福を、あなたがたに与える』というように言われていました。”

使徒の働き 13章 31～34 節

“ですから、兄弟たち。あなたがたに罪の赦しが宣べられているのはこの方によるということ、よく知っておいてください。

モーセの律法によっては解放されることのできなかつたすべての点について、信じる者はみな、この方によって、解放されるのです。

ですから、預言者に言われているような事が、あなたがたの上に起こらないように気をつけなさい。

『見よ。あざける者たち。驚け。そして滅びよ。わたしはおまえたちの時代に一つのことをする。それは、おまえたちに、どんなに説明しても、とうてい信じられないほどのことである。』”

使徒の働き 13章 38～41 節

“ふたりが会堂を出るとき、人々は、次の安息日にも同じことについて話してくれるように頼んだ。”

使徒の働き 13章 42 節

“次の安息日には、ほとんど町中の人々が、神のことばを聞きに集まって来た。”

使徒の働き 13章 44 節

“しかし、この群衆を見たユダヤ人たちは、ねたみに燃え、パウロの話に反対して、口ぎたなくののしった。

そこでパウロとバルナバは、はっきりとこう宣言した。「神のことばは、まずあなたがたに語られなければならなかったのです。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者と決めたのです。見なさい。私たちは、これからは異邦人のほうへ向かいます。

なぜなら、主は私たちに、こう命じておられるからです。『わたしはあなたを立てて、異邦人の光とした。あなたが地の果てまでも救いをもたらすためである。』”

異邦人たちは、それを聞いて喜び、主のみことばを賛美した。そして、永遠のいのちに定められていた人たちは、みな、信仰に入った。

こうして、主のみことばは、この地方全体に広まった。

ところが、ユダヤ人たちは、神を敬う貴婦人たちや町の有力者たちを扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、ふたりをその地方から追い出した。”

使徒の働き 13章 45～50 節

“弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。”

使徒の働き 13章 52 節